

発売半年で 1,000 本出荷達成！生分解性マルチフィルム、農業現場で着実に浸透

～当社独自の原料選定・成分配合・成型技術により、生分解期間の調整に特徴があるマルチフィルムの出荷増～

化学品や合成樹脂、金属・セラミックスなど素材の総合商社である昭光通商株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：渡邊 健太郎、以下昭光通商）は、今年 2 月に発売を開始した自然に土に還る農業資材である生分解性マルチフィルム「ネイチャーマスター®」がおかげさまで多くの方にご支持いただき、発売から半年間で累計 1,000 本の出荷を達成したことをお知らせします。初年度よりご購入いただいた農家の皆さまに、心より感謝申し上げます。

ご好評につき現在在庫が終了しており、ただいま 9 月末出荷分の製造を進めております。来春の作付けに向けては、さらに多くのご注文にお応えすべく、製造本数を増強させる計画です。



お問合せ（<https://www.shoko.co.jp/contact/plastics/>）

1. 生分解性マルチフィルム「ネイチャーマスター®」の製品概要

製品名	ネイチャーマスター®（Nature master®）
生分解性マルチフィルムの特徴	土壌中の微生物によって一定期間で分解され、自然に土に還る環境にやさしいフィルムです。自然に土に還る働きにより、使用後の回収や産業廃棄処理が不要になるため、通常のマルチフィルムと比較して農家の皆さまの生産性が向上するといわれています。日本の農業就業者（基幹的農業従事者（個人経営体））が 2019 年から 2024 年の 5 年間で約 36%減少する状況のなか、国内の農業を守る点でも生産性向上は非常に重要です。

	(注)
ネイチャーマスター® の特徴	「ネイチャーマスター®」は当社独自の原料選定・成分配合・成型技術により、生分解期間の調整力に特徴があるほか、機械展張時の強度、耐久性、光沢、高い保湿性などもご評価いただいています
認証	生分解性プラ識別表示制度「生分解性プラマーク（No.1353）」 ※日本バイオプラスチック協会

2. 出荷実績

2025 年 2 月の発売開始から 6 か月で 1,000 本の有償販売による出荷を達成しました。ご好評につき現在在庫が終了しており、ただいま 9 月末出荷分の製造を進めております。

＜主な出荷地域＞

北は新潟から、南は熊本まで、全国各地でご導入いただいています。

＜主な作物＞

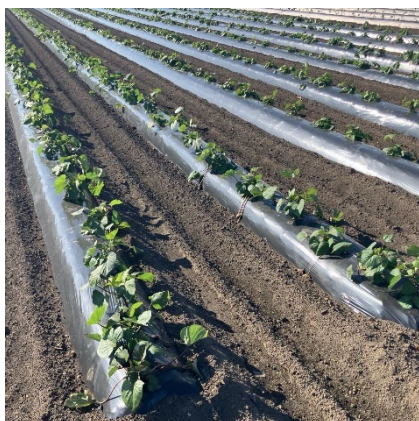
サツマイモ、サトイモ、トウモロコシ、ジャガイモ、タマネギ、レタス、ニンニクのほか、ニンジン、カボチャでも、お問合せをいただいております。



＜導入農家の様子＞

機械展張のしやすさのほか、マルチフィルムの光沢や、分解速度などで、ご評価をいただいています。

サツマイモ畑@茨城県



サトイモ畑（拡大）@埼玉県



展張の様子@埼玉県



3. 市場拡大の背景と課題

農業就業者の減少が続く中、現場の省力化や生産性向上に貢献する生分解性マルチフィルムの需要は高まっております。こうした背景を受け、行政も補助金制度などを通じて導入を後押ししており、生分解性マルチフィルムは今後さらなる普及が期待されています。

生分解性マルチフィルムは、従来のマルチフィルムと比較すると価格面では高めですが、ご利用を通じてマルチフィルムの回収労力や廃棄コストが不要であることなど、導入のメリットを実感するケースも増えているようです。

また、生分解性マルチフィルムの分解速度は作物の生育や収穫時期に直結する重要な要素です。当社では、独自の原料選定・成分配合・成型技術を活かし、農家さんがニーズに応える製品作りを進めております。今後も、求めやすい価格で高品質な生分解性マルチフィルムの提供を通じ、日本の農業の持続的な発展と生産性向上に貢献してまいります。

4. 今後の展望

生分解性マルチフィルムの普及に向け、展示会出展や、SNS での PR 活動のほか、手軽に購入できるように EC サイトを活用した販売網の構築を進めていく予定です。

5. 製品のご購入・仕様等に関する問い合わせ先

お問合せ (<https://www.shoko.co.jp/contact/plastics/>)

■ 昭光通商とは

会 社 名 昭光通商株式会社

住 所 東京都港区芝浦三丁目 1 番 1 号 田町ステーションタワーN 31 階

代 表 者 名 代表取締役社長 渡邊 健太郎

設 立 1947 年 5 月

海 外 拠 点 韓国、台湾、タイ

U R L <https://www.shoko.co.jp/>

■ 本リリースに関する問い合わせ先

昭光通商株式会社

URL <https://www.shoko.co.jp/contact/>

注 出典 農林水産省統計部「農林業センサス」、「農業構造動態調査」